

＜農業センターほ場試験＞

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
1	サツマイモ苗の増殖実証試験	R4～	—	4月下旬	6月上旬	本市では、苗を自家増殖せずに栽培しているため、多数の切り苗を必要とするが、近年では主要品種の切り苗が入手困難となっていることから、コストを抑えた無加温での自家増殖方法について検討する。 ＜供試品種：シルクスweet、ベにはるか＞	J A あさひかわ及び J A 東旭川
参考1	サツマイモ自家増殖苗の生育確認調査	新規	—	6月上旬	10月上旬	各種の増殖材料から採取した自家増殖苗を栽培し、得られる芋の収量や品質等を調査することにより、本市に適した自家増殖法の確立のための検討資料とする。 ＜増殖材料：ポット苗、切り苗、規格外種芋、規格内種芋＞	〃
2	ナスの養液栽培における品種特性調査	新規	4月中旬	6月中旬	7月中旬	J A あさひかわでは、水稻育苗ハウスの有効利用方法として、ナスの養液栽培を検討しているが、市内での栽培実績が少ないことから、当該栽培法に適した品種の検討を行うとともに、省力化が可能な環境制御装置を使用した栽培方法について検討する。 ＜供試品種：PC筑陽他3品種（単為結果性品種）＞	J A あさひかわ
3	ナンバン自根栽培における品種比較試験	R4～	3月上旬	5月上旬	6月下旬～	自根栽培で用いられている品種である‘大長なんばんロングエース’の代替となり得る品種を選定する。 ＜供試品種：大長なんばんロングエース他2品種＞	旭川青果物生産出荷協議会 なんばん部会
参考2	ナンバン‘伏見甘長’の接ぎ木栽培における品種特性調査	新規	3月上旬	5月上旬	6月下旬～	昨年度の自根栽培における品種比較試験において、標準品種よりも良好な成績を示した‘伏見甘長’について、接ぎ木栽培における品種特性を検討する。 ＜供試品種：伏見甘長、札幌大長スーパーロング＞	〃
4	白カブの作期別品種比較試験	R4～	①3月下旬 ②6月下旬 ③8月下旬	—	①5月下旬～ ②8月上旬～ ③10月下旬～	昨年度の品種比較試験において、良好な成績が得られた品種についての生育特性を検証し、市内での栽培に適した品種を選定する。 ＜供試品種：玉里他5品種＞	旭川青果物生産出荷協議会 白かぶ部会
5	コマツナの低温期における品種比較試験	新規	①2月中旬 ②9月下旬	—	①4月上旬 ②11月中旬	市内生産者は、2月播きでは現在の基幹品種より収穫期が早くなり、9月下旬播きでも収穫が可能となる低温伸長性が優れた品種を求めていることから、近年販売された品種により当地に適した品種を検討する。 ＜供試品種：8品種＞	旭川青果物生産出荷協議会 コマツナ部会
6	ハウレンソウの抽苔危険期における品種比較試験	新規	①5月下旬 ②6月中旬 ③7月上旬	—	①6月下旬 ②7月中旬 ③8月上旬	市内では、最も抽苔しやすい5月下旬から7月初旬の播種は、極晩抽性の‘カイト’（サカタのタネ）が使用されているが、同等の晩抽性を有し、栽培管理が容易な品種が求められていることから、当地に適した品種を検討する。 ＜供試品種：5品種程度＞	旭川青果物生産出荷協議会 ほうれん草部会
7	6月どりレタス品種比較試験	新規	3月下旬	4月下旬	6月中旬～	本市では、6月どり露地栽培品種として、‘サリナス88’、‘エムラップ231’を栽培していたが、‘サリナス88’の種子が供給停止となったことから、種子の供給停止等の事態に備え、代替品種となる新規基幹品種を選定する。 ＜供試品種：9品種程度＞	旭川青果物生産出荷協議会 レタス部会
8	下水汚泥肥料の効果検証試験	新規	①4月下旬 ②6月中旬 ③8月下旬	—	①5月下旬 ②7月中旬 ③9月下旬	本市においては、農業者等からの要望を受けて、官民連携による下水汚泥資源の肥料化が試行される予定である。そこで本試験では、下水汚泥肥料について農業者に情報提供を行うため、その有効性を検証する。 ＜供試品目：コマツナ＞	旭川市下水処理センター、 グリーンテックス(株)
9	シャインマスカットの栽培法試験	R3～	—	— (R3. 5. 11定植)	—	J A あさひかわが新規作物として導入を検討している‘シャインマスカット’について、昨年度は越冬時の凍害により発芽不良が散見されたことから、越冬の可能性を再確認するとともに、定植3年目の栽培管理について検証する。	J A あさひかわ
10	ブロッコリーの直播栽培試験	新規	①4月下旬 ②5月下旬 ③6月下旬	—	①7月下旬 ②8月中旬 ③9月下旬	市内ではブロッコリーの移植栽培が行われているが、育苗に要するコスト及び労力の負担が大きいことが課題である。そこで本試験では、低コスト化及び省力化が可能な直播栽培について、当地での実施可能性を検討する。 ＜供試品種：SK9-099＞	J A 東神楽
11	アスター品種特性調査	新規	ハウス ①3月中旬 ②3月下旬 ③4月中旬 露地 ④4月上旬 ⑤4月下旬	ハウス ①4月中旬 ②4月下旬 ③5月中旬 露地 ④5月上旬 ⑤5月下旬	7月～9月	アスター「ブリリアン」シリーズは大輪で市場性が高い一方、露地栽培も可能であり、市内においても導入を検討しているが、日長など条件が異なる府県産地の事例以外の情報が乏しいことから、当地での栽培特性について検討する。 ＜供試品種：ブリリアンEXブルー他2品種＞	旭川青果物生産出荷協議会 花卉部会

<展示栽培>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	収穫		
1	下水汚泥肥料の過剰施用栽培展示	新規	①6月中旬 ②8月下旬	—	①7月中旬 ②9月下旬	下水汚泥肥料の特性を把握するため、過剰施肥条件下での栽培展示を行い、適正施肥栽培(下水汚泥肥料の効果検証試験)との差異を確認、比較する。 <供試品目:コマツナ>	旭川市下水処理センター, グリーンテックス㈱